

# ひょうごバイオマス eco モデル〔令和2年度登録〕

第82号

## 地元産木材による木質ペレット製造と ペレットストーブ設置事業

### 株式会社しその森の木

(宍粟市山崎町横須 313-1)

<http://www.morinoki.or.jp/index.html>

取組の場所 宍粟市山崎町上牧谷 916

TEL: 0790-63-1819

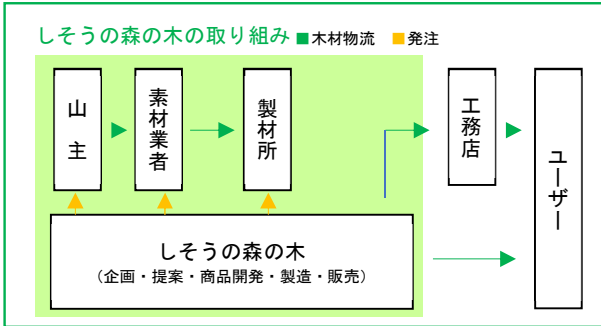
#### ◇会社概要・事業内容

県産材に特化した木材加工業（プレカット、建材加工など）。プレカット材、構造材、建材（内装材や下地材）を製造。

本社、工場は宍粟市山崎町内。県西部（西播磨・中播磨）地域を中心に但馬からも木材を仕入れ。

#### 取組概要

- ◇地元産木材を加工する自社建材工場内で発生するオガ粉から県産材 100%の木質ペレット燃料を製造・販売。
- ◇建材工場に隣接してペレット製造施設を設置。オガ粉を空気搬送し、生産ラインを自動化。
- ◇市内の温水プール、介護施設のボイラー燃料として供給するほか、一般ユーザーへも販売。
- ◇木質ペレット燃料普及のため、ペレットストーブ設置事業も実施。ペレットストーブ購入者に限り、木質ペレット燃料を配達時にメンテナンスサービスを割安で提供し、顧客を確保。



取組開始年月		平成 28 年 4 月
利活用 バイオマス	種 類	地域産木材のオガ粉
	利活用量	220 t / 年
	回収先等	自社工場
変換等の方法		ペレタイザーによる加圧圧縮成形
製品等	種 類	木質ペレット
	製 造 量	200 t / 年
	利 用 先	温水プール、介護施設（ボイラー） 一般ユーザー（ストーブ）
先導性の区分		普及、地域

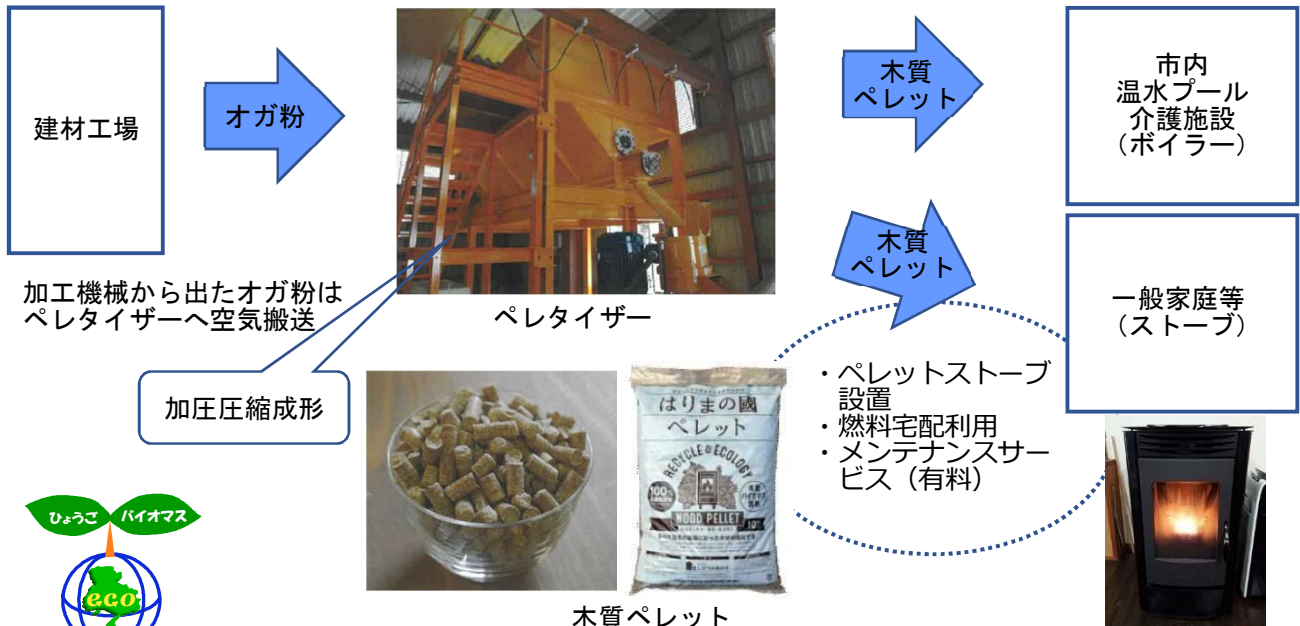
※R1実績値

#### 【強み】

- ◇自社で調達した木材を自社で加工して発生するオガ粉のため、樹種・乾燥度合いが一定。
- ◇系列の工務店でペレットストーブの導入を促進するとともに、ペレットストーブ販売後のアフターケアをすることで、顧客の確保、安定した燃料需要につながっている。

#### 【取組の効果】

- ◇これまで無償譲渡または有償処分していたオガ粉を自社工場内で処理することで廃棄物を削減。
- ◇地域産（県産）木材を木質ペレット燃料化し、地域（県内）で消費することにより、再生可能かつカーボンニュートラルなエネルギーとして地球環境と地域経済に貢献。



# ひょうごバイオマス eco モデル登録取組のご紹介

兵庫県では農林水産業やその関連産業から発生する廃棄物をゼロに近づけるための施策を「『農』のゼロエミッション」として推進しています。そのための具体的な方法がバイオマスの利活用です。

バイオマスの利活用を普及啓発し、取組の拡大を図るため、県内でバイオマスを先導的に利活用する取組を「ひょうごバイオマス eco モデル」として登録し、ご紹介しています（登録件数69件(令和2年度末現在)）。

## 制度の概要

### 1 対象

自治体、団体、民間事業者、NPO法人等が、バイオマスを先導的に利活用する取り組みで、既に開始しているもの、又は、実現が確実と見込まれる計画であって、次の要件をすべて満たすものとする。

### 2 要件

- 1) 取組を実施している施設等の所在（計画段階の場合は予定地）が兵庫県内であること。  
ただし、取組を実施している施設の所在が兵庫県に隣接する市町村であり、当該施設の運営を行う者の主たる事務所が兵庫県内である場合は、兵庫県における先導的取組と認めるにふさわしいものに限り、登録の対象とする。
- 2) 原則、原料等として利活用（計画段階の場合は利活用を予定）しているバイオマスの過半が兵庫県内で発生したものであること。
- 3) 関係法令の許認可等が適正に取得等されていること。
- 4) 以下のいずれかの先導性の基準に該当すること。



《ロゴマーク》

項目	内容	例示
原材料	・利活用率の低いバイオマスや資源作物等の利活用 ・複数のバイオマスの組み合わせによる利活用 等	・間伐材の固形燃料化(チップ、ペレット等) ・資源作物のエタノール、バイオディーゼル燃料化 ・食品廃棄物と家畜排せつ物のメタン発酵 等
技術	【レベル】 県内で普及段階に至っていない技術の利活用	・乾式メタン発酵(利活用バイオマスの拡大) ・木質バイオマスのガス化(利活用用途の拡大) 等
	【システム】 複数の技術の組み合わせによる効果的な利活用	・メタン発酵残さの炭化・肥料化 ・太陽光発電とメタン発酵を組み合わせたエネルギー供給 等
普及	バイオマス利活用を加速させる、利用環境の改善等	・竹チップ用ボイラーの開発等による竹利用の促進 ・ペレット販売拠点の整備等による利用環境の改善 ・エコフィードを用いたブランド肉生産による理解の醸成 等
地域	バイオマスの分別、収集・運搬、利活用システムの管理・運営等において、地域が一体となった取組	・廃食用油回収によるバイオディーゼル燃料製造と利用 ・ボランティアによる間伐材搬出、炭製造、利用 ・地域通貨によるバイオマス資源の効率的回収と利用 等
その他	その他、先導的な役割を果たすと判断されるもの	

- 4 問い合わせ先：兵庫県農政環境部農政企画局消費流通課 食の安全・ゼロエミッション班  
TEL 078-362-9223 FAX 078-362-4276

ひょうごバイオマス eco モデル登録制度については、県ホームページでも御覧いただけます  
兵庫県ホーム > まちづくり・環境 > 環境 > 廃棄物・リサイクル > 「農」のゼロエミッション  
[https://web.pref.hyogo.lg.jp/nk06/af04\\_000000015.html](https://web.pref.hyogo.lg.jp/nk06/af04_000000015.html)